

社会福祉法人 博愛会 デイサービスセンター ルーエハイム



晩夏の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。梅雨も明けて夏本番。緑が深く生い茂り、空には入道雲。焼け付くような陽射しが照り付け、水辺で涼をとる人々の姿も。耳を澄ませば、聞こえてくるのは、蝉の声。八月七日の立秋を過ぎれば暦の上ではもう秋です。今月号も元気なご利用者様の様子をお届けします。どうぞ一読ください。

今月の手作りおやつは < パンケーキ > を作っていただきました



* 毎月 10 日は トモ の日 ! * 7月 10 日(木)は「沖縄料理」でした

ゴーヤは苦味が特徴的な野菜で、ビタミンCを豊富に含み夏バテ解消に効果的です。

タコライス
海藻サラダ
ゴーヤフライ
もずく汁
おやつ..クレープ



管理栄養士



サービス利用・デイ通信へのお問い合わせは

〒510-0266 鈴鹿市長法寺町字権現 763

059-372-3811(代) fax 059-372-3814

E-mail ruheheim@circus.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.ruheheim.com>



ホームページ スタッフブログの“ルーエハイム通い”では、デイサービスセンターの行事等を紹介しています。



ボランティアさんが来て下さいました

琴世会 の皆様が **大正琴の演奏** を披露して下さいました (7月29日)



七夕の笹飾りを作っていました



7月の七夕にちなんで、皆様に笹飾りを作っていました。願い事を短冊に書いて、いろいろな飾りと共に笹に結んで出来上がりです。「元気でいられますように」、「宝くじが当たりますように」、「美味しい物が食べられますように」、「いつまでも綺麗でいられますように」…皆様の願い事は様々でした。



デイサービスセンターでは **音楽療法** を行なっています(週1回隔週の水・金曜日)



「 東京音頭 」



梅雨明けも間近というデイサービスの一日、本格的な夏の訪れを待ちきれずに、盆踊り歌を楽しみました。定番の「九州炭鉾節」(福岡県民謡)と「東京音頭」(作詞 西條 八十・作曲 中山 晋平)です。「東京音頭」は昭和8年、芸者歌手とよばれる小唄勝太郎が三島一声とコンビを組んで歌い、レコード化されて爆発的に流行した曲です(「ハア～」という歌いだしから「ハー小唄」なんていう言葉もあるそうです)。とにかく元気がでる歌で、皆様大好きですね。明白な2拍子のリズムなので、太鼓を叩く動作も大きく、鳴子のリズムも歯切れよく揃います。歌われている表情も生き生きとしています。曲の終わりは、小刻みに打ち鳴らしながらクレッシェンド(だんだん強く)していくので、皆様の緊張感も高まります。最後の音がピシッと決まると、とても満足そうな表情…「ああ、面白かった…」という声も聞こえてきます。全員で作りに上げる音楽はスケールも大きく、気分が高揚し、一体感を感じることもできます。今年もきっと猛暑の夏…明るく楽しく、元気に乗り切りましょう！